

令和4年度 SPOD 内講師派遣プログラム実施要項（香川大学）

- 講義名 「学修成果の可視化から始めるカリキュラムの評価と改善」
- 講師名 竹中 喜一（愛媛大学 教育・学生支援機構教育企画室 准教授）
- 日 時 令和4年9月21日（水）10：30～12：00
- 場 所 525 講義室（香川大学幸町北キャンパス 5 号館 2 階）
- 概 要 本研修では、学修成果の評価方針であるアセスメントプランの定め方、直接評価および間接評価による学修成果の評価方法、評価結果の分析の切り口について基礎的な知識を習得します。また、学修成果の評価を行っただけでは必ずしもカリキュラムの改善につながりません。したがって本研修では、少しでもカリキュラムの改善可能性を高めるためにできることやもつべき姿勢についても学習していきます。
- 目 標
 - ・カリキュラム評価の意義を説明することができる。
 - ・アセスメントプランの定義と構成を説明することができる。
 - ・学修成果の評価結果を分析する方法を3つ以上列挙することができる。
 - ・学修成果の評価結果を改善につなげる方策を検討することができる。
- 内 容 カリキュラム評価には学修成果の向上と説明責任の2つの目的があります。いずれの目的を果たす上でも、学修成果を適切に可視化することが重要です。本研修では、適切に学修成果を可視化および分析し、その結果を改善にまで活かす一連のプロセスについて考えていきます。具体的には、学修成果の評価方針であるアセスメントプランの定義や構成要素、直接評価と間接評価を用いた学修成果の評価およびその結果の分析方法、そして評価結果を改善につなげるための方法について事例を含めて説明します。